

# 子宮頸がん予防ワクチンによる健康被害者への総合相談体制

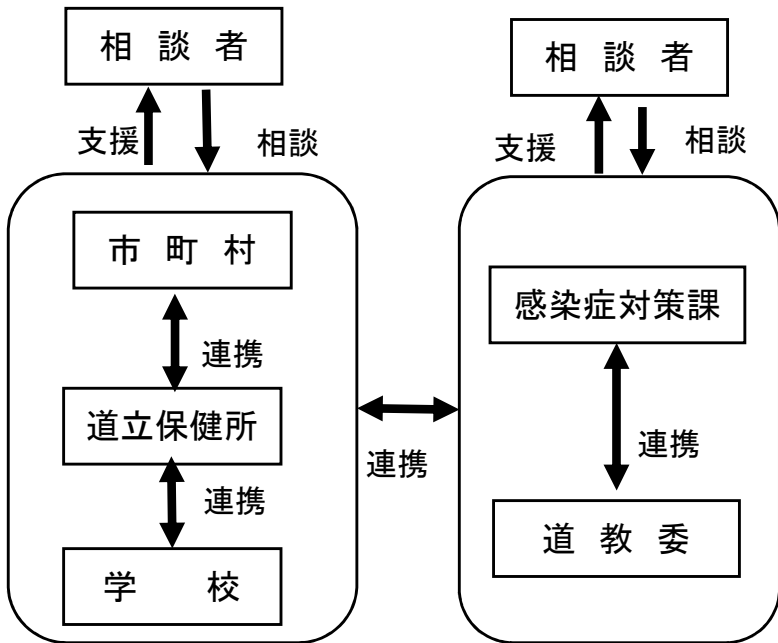
## 子宮頸がん予防ワクチンの主な副反応

- 重大なもの ショック、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、ギラン・バレー症候群
- その他のもの 疼痛、発赤、腫脹、発疹、発熱、腹痛、知覚異常、筋痛、関節痛、頭痛、めまい、しびれ感、全身脱力 など

## 健康被害が生じた患者の悩み

- ①医療面の悩み ⇒ 最寄りの医療機関を受診したが、原因不明と言われどこの医療機関を受診したら良いか分からない。
- ②経済面の悩み ⇒ 度重なる受診で医療費がかかる。副反応で障害が生じ交通費など負担が大きくなった。
- ③就学面の悩み ⇒ 体調不良で学校に行けない。学校や友達が副反応で体調が悪いことを理解してくれない。
- ④その他の悩み ⇒ 日常生活が以前のように送れなくなった。将来の生活に対する不安 など

## 【相談体制】

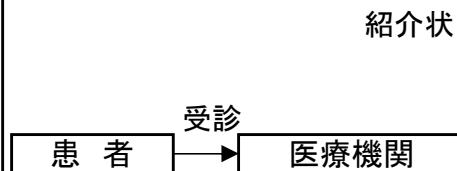


地域の相談支援体制

総合相談窓口

## 【支援体制】

### 【医療】



### 【協力医療機関】(※詳細は次のページのとおり)

- ・札幌医科大学附属病院
- ・北海道大学病院
- ・市立釧路総合病院
- ・釧路ろうさい病院
- ・旭川医科大学病院
- ・函館中央病院

### 【経済的救済】

- 25年4月以降の定期接種の場合～予防接種健康被害救済制度の説明 (市町村が申請窓口)
- 25年3月以前の任意接種の場合～医薬品副作用健康被害救済制度の説明 (PMDAが申請窓口)

### 【就学・学校生活面】

- 保健部局に学校生活に関する相談
- 学校に医療や補償などに関する相談

⇒ 必要に応じ、保健福祉部と道教委において協議

# 【支援体制】

## 【医療】

